



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日
東上場会社名 株式会社 星医療酸器
コード番号 7634

上場取引所

URL <http://www.hosi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 星 幸男

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 後藤 勇治

(TEL) 03(3899)2101

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	11,320	3.2	1,333	△2.8	1,402	△1.9	948	△1.7
2025年3月期第3四半期	10,971	3.1	1,372	△1.7	1,429	△2.1	964	△3.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,133百万円(7.0%) 2025年3月期第3四半期 1,059百万円(△19.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	303.68	—
2025年3月期第3四半期	309.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	25,771	19,599	74.9
2025年3月期	24,590	18,715	74.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 19,293百万円 2025年3月期 18,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	45.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	15,260	1.0	2,070	4.4	2,140	3.7	1,476	0.9
								472.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社 (社名) 、除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	3,420,000株	2025年3月期	3,420,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	297,500株	2025年3月期	296,652株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	3,123,084株	2025年3月期3Q	3,119,148株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、物価上昇の継続により消費者マインドは慎重な状況が続きました。企業活動においては、設備投資やインバウンド需要の回復が一部で見られた一方、原材料価格やエネルギー価格、人件費および物流費の上昇がコスト負担となり、企業収益の回復にはばらつきが生じました。今後につきましては、雇用・所得環境の改善による緩やかな景気回復が期待されるものの、物価動向、為替変動および海外経済の先行き等を背景に、引き続き不透明な状況が続くものと見込まれます。

このような経済環境のもと、当社グループは取扱商品・サービスの安定供給とお取引先様と従業員の安全確保を最優先に事業を継続し、医療・介護・福祉分野において企業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は11,320百万円（前期比3.2%増）、営業利益は1,333百万円（前期比2.8%減）、経常利益は1,402百万円（前期比1.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は948百万円（前期比1.7%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、新規取引先拡販が順調に推移し、医療用酸素ならびに二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。世界情勢を反映したエネルギーコスト上昇等に伴う材料・仕入価格の増加につきましては、市況を鑑みた適正価格への変更に注力し交渉を進めてまいりました。また物流・運送業界におけるポスト2024年問題に対応すべく、円滑な組織体制づくりや人的資源の拡充にも努めてまいりました。

これらの結果、売上高は2,941百万円（前期比0.1%増）、セグメント利益は321百万円（前期比29.2%減）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策による在宅医療推進の流れを背景に、患者様および医療機関のニーズに的確に対応し、きめ細やかな営業活動を継続いたしました。その結果、「HOT（在宅酸素療法）」、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」ともに堅調に推移いたしました。

利益面では、世界的な原材料価格の上昇やエネルギー関連コストの高騰に対応すべく、配送体制等の合理化施策を推進し、収益性の確保に努めました。

これらの結果、売上高は5,372百万円（前期比7.7%増）、セグメント利益は742百万円（前期比17.5%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガス設備ならびに消火設備等の配管工事および配管設備の保守点検業務を行っております。配管設備の保守点検業務は安定した売上を確保しておりますが、建築費高騰の影響で医療機関の設備投資が減少していることにより、設備工事の売上は前年を下回りました。

これらの結果、売上高は1,049百万円（前期比11.4%減）、セグメント利益は157百万円（前期比4.9%減）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタルおよび販売部門におきましては、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所及び病院・施設への継続的な営業活動を図った結果、レンタル売上および販売におきまして前年の売上を上回りました。

一方、訪問看護事業所部門におきましては、都内3拠点を事業基盤として地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実を図りましたが、前年の売上を下回りました。

これらの結果、売上高は895百万円（前期比1.9%増）、セグメント利益は20百万円（前期比38.3%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）におきましては、24時間看護師在駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、感染症予防とまん延防止を第一とした施策を徹底することにより、入居者様やご家族様への「安心」・「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。

通所介護施設「あしつよ・文京（東京都文京区）」、「あしつよ巣鴨（東京都豊島区）」、「あしつよ王子（東京都北区）」におきましても、感染症防止に努めつつ地元密着型のサービスの提供と顧客サービスの多様化に対応することにより稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は263百万円（前期比4.7%増）、セグメント損失は2百万円（前期セグメント損失6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は25,771百万円（前連結会計年度末比1,181百万円増）となりました。これは主に、流動資産のその他のうち立替金が125百万円、有形固定資産のその他のうちリース資産が119百万円、投資有価証券が825百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は6,171百万円（前連結会計年度末比297百万円増）となりました。これは主に、流動負債のその他のうち未払費用が132百万円、リース債務が86百万円、固定負債のその他のうちリース債務が48百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は19,599百万円（前連結会計年度末比883百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が698百万円、その他有価証券評価差額金が173百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,625,818	10,731,185
受取手形、売掛金及び契約資産	2,871,491	2,720,123
棚卸資産	178,521	313,095
その他	109,926	279,211
貸倒引当金	△2,343	△2,218
流動資産合計	13,783,412	14,041,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,512,970	1,449,636
土地	3,634,607	3,645,607
その他（純額）	1,532,337	1,700,785
有形固定資産合計	6,679,915	6,796,029
無形固定資産	139,048	134,356
投資その他の資産		
投資有価証券	2,966,992	3,792,393
その他	1,025,347	1,012,508
貸倒引当金	△4,696	△5,482
投資その他の資産合計	3,987,644	4,799,420
固定資産合計	10,806,608	11,729,806
資産合計	24,590,021	25,771,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,748,621	2,709,088
未払法人税等	328,699	146,543
賞与引当金	214,948	95,800
その他	1,058,937	1,487,721
流動負債合計	4,351,206	4,439,154
固定負債		
役員退職慰労引当金	824,010	914,040
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	693,719	813,364
固定負債合計	1,522,874	1,732,549
負債合計	5,874,081	6,171,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	569,866	569,866
利益剰余金	17,339,833	18,038,390
自己株式	△838,246	△838,464
株主資本合計	17,507,633	18,205,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	899,846	1,073,625
退職給付に係る調整累計額	22,113	14,061
その他の包括利益累計額合計	921,959	1,087,686
非支配株主持分	286,346	305,839
純資産合計	18,715,939	19,599,499
負債純資産合計	24,590,021	25,771,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	10,971,215	11,320,938
売上原価	5,425,606	5,655,544
売上総利益	5,545,608	5,665,394
販売費及び一般管理費	4,173,284	4,331,737
営業利益	1,372,324	1,333,657
営業外収益		
受取利息	8,199	25,934
受取配当金	38,304	48,377
受取家賃	6,596	5,217
仕入割引	4,108	3,565
雑収入	8,068	4,935
営業外収益合計	65,277	88,029
営業外費用		
貸倒損失	981	—
支払利息	3,390	11,788
賃貸原価	1,269	—
雑損失	2,278	7,001
営業外費用合計	7,918	18,790
経常利益	1,429,683	1,402,896
特別利益		
固定資産売却益	945	694
特別利益合計	945	694
特別損失		
固定資産除却損	892	10,348
特別損失合計	892	10,348
税金等調整前四半期純利益	1,429,737	1,393,242
法人税等	449,739	439,447
四半期純利益	979,997	953,795
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,298	5,376
親会社株主に帰属する四半期純利益	964,699	948,418

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	979,997	953,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,522	187,335
退職給付に係る調整額	△16,434	△7,493
その他の包括利益合計	79,088	179,842
四半期包括利益	1,059,085	1,133,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,044,311	1,114,145
非支配株主に係る四半期包括利益	14,774	19,492

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,939,292	4,988,063	1,184,524	879,467	251,543	10,242,891	728,324	10,971,215
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	71,312	—	—	71,312	—	71,312
計	2,939,292	4,988,063	1,255,836	879,467	251,543	10,314,203	728,324	11,042,527
セグメント利益 又は損失(△)	453,421	631,859	165,637	33,692	△6,283	1,278,327	93,997	1,372,324

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,278,327
「その他」の区分の利益	93,997
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,372,324

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,941,315	5,372,144	1,049,111	895,798	263,254	10,521,625	799,313	11,320,938
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	63,603	—	—	63,603	—	63,603
計	2,941,315	5,372,144	1,112,714	895,798	263,254	10,585,228	799,313	11,384,541
セグメント利益 又は損失(△)	321,119	742,637	157,468	20,781	△2,786	1,239,220	94,436	1,333,657

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,239,220
「その他」の区分の利益	94,436
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,333,657

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	611,379千円	694,432千円
のれんの償却額	3,103千円	一千円